圧力調整器　トラブルシューティング

トラブルの状況		チェック	処置方法
ガスが出ない		上流側のバルブのチェック	バルブが閉じていれば開けてください。
		元圧力のチェック	元圧が0になっていればボンベ等の交換を行なって下さい。
出流れ 調整器の出口側を閉じた時、二次側圧力が上がる。		二次側圧力計のチェック (出口側を閉じた時、ハンドルにさわってないのに二次側圧力計の指針が上がっていく。(出流れ))	直ちに使用をやめ、内部のガスを抜いて下さい。 ☆販売店に修理の依頼 配管用、装置用は調整器などにゴミなどが入らないように入口にストレーナーを付けて下さい。
ガス漏れ	安全弁	設定圧力のチェック	設定圧力が調整器の仕様圧力を超えている場合は、仕様圧力以下に下げて使用して下さい。
			仕様圧力以下で使用しているのに漏れる場合 直ちに使用をやめ内部のガスを抜いて下さい。 ☆販売店に修理の依頼
	継手、その他	ネジのゆるみ	内部のガスを抜いて増し締めをして下さい。
		パッキンの収縮・劣化がないかチェック	パッキン、シールテープの交換を行なって下さい。
圧力計の指針がゼロに戻らない。圧力計の指示がおかしい。		配管上の圧力計があれば、比較チェック 圧力計の外観チェック	圧力計の故障が明らかであれば、圧力計を校正に出して下さい。 圧力計を交換して下さい。
ガスを流すと一次側圧力と二次側圧力が著しく降下する。		上流側で流量が絞られていないかチェック (バルブの開度が少ない。配管が細い。)	バルブを全開にして下さい。 配管を流量に合ったものにして下さい。
		上流側のガス供給量は充分かチェック	供給不足の場合、容器本数を多くするなど、ガス供給量を多くする処置を行なって下さい。
		調整器入口フィルタ及び上流側のフィルタの目詰まりのチェック	フィルタが目詰まりの場合、フィルタの掃除・フィルタの交換を行って下さい。
ガスを流すと下流側の圧力のみが著しく降下する。		調整器弁部の故障 ・弁材の抜け ・バルブ押シ等の磨耗	直ちに使用をやめ、内部のガスを抜いて下さい。 ☆販売店に修理の依頼
		調整器の流量能力のチェック (仕様等)	流量に見合った調整器に交換して下さい。
圧力計の指針が激しく振れ異音が発生する。(バイブレーション)		調整器の下流側のバルブを急激に開いていないかチェック。	バルブは、ゆっくり開くようにして下さい。
		ガスの放出量が、仕様流量より多くないかチェック。	調整器の能力以内で使用するようにして下さい。
		ヘリウム、水素等の軽いガスは発生しやすいため、専用の調整器かチェック。	専用の調整器でなければ、専用の調整器に交換して下さい。 (一度バイブレーションを発生させると放出量を少なくしてもなおらない場合があります。部品の交換が必要です。)